

Tom Cook lives in Japan with his host family. He is from Australia.

He started to study Japanese because he likes Japanese popular culture such as manga, music, and so on.

Now he can speak it very well.

Two months ago, he found an article on the city's website about a volunteer job.

It said Hikari City was looking for foreign language volunteers.

(その記事には)～と書いてあった ※〈said that 〉の that が省略されている。said は say の過去形。

Tom wanted to help other foreign people in Japan.

So he applied for the job, and he started to work as an interpreter at City Hall.

One day, when Tom was working at City Hall, an American woman called.

She said, “Hello. I’m Mrs. Brown.

say (～と言う) の過去形

I want to go to the city hospital because I have a headache.

～だから

But I don’t speak Japanese well, so ... I need an interpreter. Could you help me?”

In the afternoon, Tom went to the hospital with her.

It was very crowded there, so they had to wait for about an hour.

have to の過去形

After the examination, Tom asked the doctor in Japanese, “How is she?”

検査

医者

The doctor said that she was OK and explained a lot about headaches.

～と言った

～を説明する

Tom listened carefully.

But because he was very tired, he only said to Mrs. Brown, “You are OK.”

～だから

When Tom said goodbye to the doctor, Mrs. Brown said, “Just a minute.

～するときに

I don’t understand Japanese. What were you talking about?”

Tom was very sorry about that. Now he thinks that thoughtful communication

～と考えている

with other people is important for a foreign language volunteer.

トム・クックは日本でホストファミリーと暮らしています。彼はオーストラリア出身です。

彼はマンガや音楽といったような日本の大衆文化が好きなので、日本語を勉強しはじめました。

彼は今、日本語がとてもうまく話せます。

2 か月前、彼は市のウェブサイトで、ボランティアの仕事についての記事を見つけました。

そこには、ひかり市が外国語ボランティアを探していると書かれていました。

トムは、日本にいるほかの外国人の手助けをしたいと思います。

だから、彼はその仕事に申し込み、市役所で通訳として働きはじめました。

ある日、トムが市役所で働いていたとき、一人のアメリカ人女性から電話がありました。

彼女は言いました。「こんにちは。私はブラウンです。

頭が痛いので市民病院に行きたいと思っています。

でも、日本語を話すのがうまくないので…通訳が必要なのです。助けてくれますか？」

午後、トムは彼女と病院へ行きました。

病院はとても混んでいたもので、彼らは1時間ぐらい待たなければなりませんでした。

検査のあと、トムは日本語で医師にたずねました。「彼女はどうですか？」

医師は、彼女はだいじょうぶだと言い、頭痛についてたくさん説明してくれました。

トムは注意深く聞きました。

でも彼はとても疲れていたもので、ブラウンさんに「あなたはだいじょうぶです。」とだけ伝えました。

トムが医師に別れを告げたとき、ブラウンさんが言ったのです。「ちょっと待って。

私は日本語がわかりません。あなた方は何について話していたのですか？」

トムは、そのことをとても申し訳なく思いました。彼は今、外国語ボランティアには、思いやりをもってほかの人たちとコミュニケーションをとることが大切だと考えています。

